



つぼみ保育園年報 第8号

2005年(平成17年)12月1日発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会 つぼみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24

[TEL] 092-681-4782 [FAX] 092-681-4780

[E-mail] tsubomi@nifty.com

[HP] http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/

この度、当園の創立40周年記念事業が実行委員会の皆様の手により実施されました。この紙面にもその報告が掲載されていますが、多くの皆様のご協力を得てお祝いをして頂いたことに對し心より御礼申し上げます。

「つぼみ保育園」の創立40年と「新宮つぼみ保育園」の開園という法人にとって歴史的意味を持つこの時期に感じたことを書かせてもらいます。

姉妹園「新宮つぼみ保育園」は七月に開園して以来、五か月が経過しました。スタッフの苦勞も並大抵では無かったようです。多くの経験者を連れて行ったのはご存じの通りですが、やはり新規開園ともなれば、つぼみ保育園で四月当初、新園児を迎えた時の状況とは違います。約90名の子ども達が全員新園児なので、すからその混沌とした状況は想像いただけると思いますが、加えて保護者の殆どの皆さんが保育園の利用は初めてなのですから何をか言わんやです。この五か月の様子を見ていて、つぼみ保育園の歴史の重みを痛切に感じています。40年間のその重さは人の繋がりがなりました。卒園児、保護

歴史の重み

新宮つぼみ保育園のこと、そして、つぼみ保育園は

社会福祉法人 輔仁会 つぼみ保育園

理事長/園長 大浦純平

者、職員の合計約四千五百人弱、実に多くの人々がつぼみ保育園を核にして各々が関係性を持ってきました。そして、その皆さんから発せられる多くの情報が、良しに付け悪しきに付け、即ち、歴史の重みの実像なんだろうと思えます。新たにつぼみ保育園の門をくぐら

報の蓄積が全くありませんので、保護者のみなさんには角張ったお気持ちのまま入園するし、迎える職員も、保育の流れや施設使用に不慣れだということでは同様です。ここに生まれる関係性はつぼみ保育園のそれとは大きな落差があります。一寸したことで角と角がぶつ

れる方々は大きなり小なりつぼみ保育園の何らかの情報を浴びているに違いないと、門をくぐるときは既にその程度、角がとれたお気持ちになつていると言うことなんですよ。そして、また、新しい関係性が生まれます。ところが、新宮つぼみ保育園ではそのような情

つかり、その修復にも時間がかかるなんてことが沢山あつています。40年前のつぼみ保育園も当初は同じような状況だったと思います。こちらに非があつたり、誤解があつたりして多くのぶつかり合いがあつたことでしょう。しかし、その度に、非を改め納得してもらい、話を聞いて


もらつて誤解を解き、その一つ一つを解決しながら園も成長し、保護者の皆様との良好な関係性を築き上げてきたのだと思えます。今、園長として思うことは、つぼみ保育園の我々は歴史にあぐらをかかず、新宮での産みの苦しみを自らのことと感じ、今一度、足下を見据えることが大切なんだということ。日々の保育を客観的に見る目がほやけてはいないか、行事に追われ子ども達を置き去りにしてはいないかなど基本中の基本を洗い直すいい機会にしなければと思つています。子ども達にとつて最も大切なことは、連綿と繋がる日々の成長を温かく見守り間髪を入れず適切な援助をして上げることであり、それこそが保育の真髄だということを職員と十分話し合い実現する努力を致します。

最後に法人の理事長として、新宮つぼみ保育園のスタッフがこの混沌とした状況を真摯な姿勢で受け止め、近い将来、築き上げることであると、ある歴史に礎を降ろしたメンバーであることの誇りを持って、今後とも頑張ってもらいたいと念願しています。

【園長】

四十周年記念事業

ご協力ありがとうございました



創立四十周年記念事業
実行委員長 塩見 昭彦



皆さまのご協力に重ねて御礼申し上げます。以上、40周年の記念事業を、つがなく終えることができたのも、皆様のお力添えの賜物です。園の歴史に、節目となる新しい思い出をひとつ加えることができたであろうと、僥倖ながら自負している次第です。皆さまのご協力に重ねて御礼申し上げます。

つぼみ保育園40周年記念事業の皆様の協力、ご支援に感謝し、ご報告とお礼を述べさせていただきます。1月30日、リーセントホテルで開催された記念パーティには、職員OBの先生方をはじめ卒園児、保護者など多数の関係者にご出席いただきました。有志によるつぼみ太鼓でオープニングの後、関係各位より心のごもった挨拶を頂戴し、また進行も皆様の協力によりスムーズに運ぶことができました。参加者からは形式ばらず、大変良いパーティであったとの感想をいただきましたが、私もそのように思いました。準備にあつた実行委員の努力の賜物であつたと思います。ご出席の皆様まことにありがとうございました。席上、「40周年記念誌」を配布いた

しましたが、編集委員ならびに印刷会社様の協力で、記念に残る良い本ができたと思えます。ご購入いただいた園の方々、また広告ご出稿で協力いただいた皆様に感謝申し上げます。記念品の目録を園に贈呈しましたが、園とも相談の上、記念品は園庭に設置する「ログハウス」材料一式とさせていただきます。6月より、実行委員有志と在園児の保護者おやじの会が土曜日、「こころ」手作りて建設にあたり、約5カ月をかけ、3棟が完成しました。サイズを幼児に合わせたものですが、本格的なログハウスは、園児の皆様への何よりのプレゼントになったと思えます。詳しい会計報告は別稿の通りですが、余剰分につきましては周年記念事業積立金繰り入れ、来る

6月より、実行委員有志と在園児の保護者おやじの会が土曜日、「こころ」手作りて建設にあたり、約5カ月をかけ、3棟が完成しました。サイズを幼児に合わせたものですが、本格的なログハウスは、園児の皆様への何よりのプレゼントになったと思えます。詳しい会計報告は別稿の通りですが、余剰分につきましては周年記念事業積立金繰り入れ、来る

50周年に向けて

父母の会会長 伊集院直親



私は平成17年度つぼみ保育園父母の会会長を務めさせて頂いております伊集院と申します。昨年度も父母の会会長を務めさせて頂き、2年目の大役を仰せつかっております。

つぼみ保育園は昨年度めでたく40周年を迎えられ、今年には41年目となり、既に50周年へ向け新しい道のりを歩んでおられます。この長い歴史を汚さぬよう、私も微力ながら務めさせていただきます。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。

さて、私も2年目の会長職ということで、少しは園の流れというものを把握できるようになり、気持ちに余裕も生まれ、少しでも父母の会を向上しようと考えることができるようになりました。皆様が築いてこられた伝統を重んじながらも、少しずつではありますが更に良い会へと変わってきているように

思います。その中のひとつとして、親父の会設立が挙げられます。昨年度に発足はしたものの、なかなか本格的な活動をできずにおりました。しかし、皆様より40周年記念品として贈呈頂きましたログハウスを親父の会で建設しようということになり、親父たちが一致団結してログハウス建設に臨むことになりました。そのログハウス建設も先日完成をし、華やかに完成記念の宴を園に催して頂きました。今では親父の間に絆が生まれ、更に密度の濃い園生活を送らせて頂いております。

末筆になりましたが、これも皆様より頂戴しましたご寄附の賜物であると深く感謝いたしております。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

行事

平成十七年度	4月9日	新年度説明会
	12日	園児健康診断
	23日	親子歓迎遠足
	27日	おたのしみ会
	21日	端午の節句おたのしみ会
	21日	親子保育・父母の会総会
	21日	父母の会総会
	8日	おたのしみ会
	8日	歯科検診
	7月7日	七夕おたのしみ会
	9日	お泊まり保育(青組)
	14日	プール開き
	16日	サマーパーティ
	26日	おたのしみ会
	30日	運動会
	10月	おたのしみ会
	11月	おたのしみ会
	11月	園児健康診断
	18日	敬老の集い
	27日	リトミック発表会
	11月	おたのしみ会
	19日	友愛セール
	26日	影絵劇場(一般公開)
	12月	作品展
	2日	おたのしみ会
	11日	鏡開き
	22日	もちつき
	27日	おたのしみ会
	29日	たんばぼ音楽会(青組) 於サンパレス
	1月	おたのしみ会
	3日	桃の節句おたのしみ会
	10日	発表会
	18日	おたのしみ会
	3月	まめまき
	3日	卒業式
	8日	遠足(年少)
	15日	遠足(年長)
	21日	卒園式(新園児)
	28日	入園式(新園児)

ログハウス造り奮闘記

私はログハウスを製作するにあたって二つの思いがありました。

まず一つは、子ども達に早く本物の木で作った暖かみのあるログハウスで楽しく家族「こっこやい」という遊びをしてみたいという気持ちと、自分たちが子どもの頃になかった物だし、あつたらすこく嬉しかったと思っ、子ども達の喜び顔を目に浮かべながら一生懸命造りました。他のお父さん方も同じ気持ちだったと思いません。

もう一つは、昨年からおやじの会を発足しましたが何の動きもなく、会員数も少数のまま終わりで、残念でした。今年はログハウス作りという大きな課題がありお父さんたちが集まる場所ができたので、おやじの会も大きくしたいと思っています。同じ保育園に我が子が見る程度で名前も知らない

じゃ寂しすぎます。

6月から始まって10月半ばまでの、半年間のログハウスですが私にとっては、長いようで短い期間だったと思います。いろいろなお父さん方に参加してもらい、こっこやいに出る普段顔を見る程度だったお父さん方といういろいろな話をしたり、時には、失敗をしたりみんな一致団結して楽しみながらログハウス造りを進めていきました。だんだん完成に近づくにつれて工具の使いかたにも慣れ作業も早くなっていました。最後の一枚の時には完成して嬉しい反面「これで終わってしまうのか」と思うと寂しい気持ちもありました。この気持ちだと思います。

仕事はそれぞれ違うけれど、こうして保育園に集まって一つの事にお父さん達みんなで一生懸命にやる事なんてそうめったにありません。

せんよね。(保育園に感謝です)今はログハウスで遊んでいる子ども達を見て嬉しく思います。達成感って言うんですかねえ、やって良かったと思っっています。けど、私の中ではまだ終わっていません。それは今ログハウスの中にキッチンを作っているからです。キッチンがあればもっとログハウスの遊びも増えるし、家族「こっこやい」も増えるでしょう。遊びの中で子ども達同士でいろいろ話話が生まれてくれたら造ったかいがあります。子ども達が楽しく遊ぶ姿が目に見えたら嬉しいです。

おやじの会も今年度は、盛り上げて行きたいと思っしますので、「参加できるよ」と言うお父さん方兼ねなく是非とも参加の方よろしくお願ひします。

40周年の一環として始まったログハウス造り。毎週お父さん方が集まって専門的な知識がない中、

的野 元和

それぞれの知恵を持ち寄って6月から建設が始まりました。私は子供の「お父さんも手伝って」と言う言葉の後押しもあり、8月から参加させて頂いてもらいました。早く完成させて子供たちに遊んでもらいたいとは思っっていたのですが、ログハウス造りは簡単そうに見えてなかなか作業が進まずいつ完成するのだろうかと心配になりました。10月に完成し早速まごごとをして楽しんで遊んでいる子供たちをみるとログハウス造りに参加できて本当によかったと思っます。今は、ログハウスの中にキッチンを造っていますので、もっと楽しく遊んでくれるかなと期待しています。

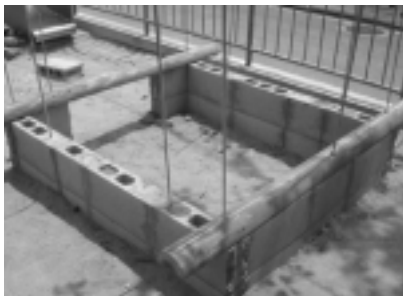
中富 茂雄



基礎の土台作り



塗装作業



丸太積み上げ開始



木下加六計測(切断六尺)



屋根葺き

つぼみ保育園創立40周年記念事業 会計報告

つぼみ保育園創立40周年記念事業実行委員 副島 克己

昨年から進めてきた、つぼみ保育園創立40周年記念事業も、平成17年1月30日(日)の式典・祝賀会(公私ともにご多用な中、多数のご出席をいただき、心のコもったお言葉や激励をいただき、盛大に、しかも和やかな会でした。)の開催や、いただいたご寄付から園へ、手作りによるログハウス三棟(これは、園のお父さん方有志で組織した「親父の会」の、お忙しい貴重な土曜日13回を費やし、平成17年10月15日竣工)を記念品として贈ることが出来ました。

完成したログハウスの、すばらしい出来映えに、実行委員会一同、改めて、みなさまのご支援とご協力に、感謝しております。また、これにより事業について決算いたしましたので、紙面をお借りして、ご報告いたします。

おわかりになる様に、30周年実行委員会に残していただいた、お金があったからこそ、今回の40周年記念事業を行うことが出来ました。また、実行委員会で話し合いを行い事業を進めて行くうちに、次回(50周年!!)も、という声が次第に大きくなり、今回の収支から周年記念事業積立金へ、積み立てを行うことにしました。ご報告いたしますとともに、次回へつながる、みなさまのご支援とご協力を期待して、ご挨拶いたします。

平成17年12月1日 現在			
収入の部		支出の部	
科目	合計	科目	合計
周年記念事業積立金繰入	1,005,944	式典・祝賀会経費	826,563
寄付金	1,483,930	記念誌発行代	950,270
記念誌への広告協賛金	893,000	記念品(ログハウス)費用	954,933
40周年記念祝賀会会費	935,000	運動会協賛費等	50,000
チャリティ・コンパ・Tシャツ販売	137,000	通信印刷費	246,213
16年度友愛セ-ルからの寄付	270,000	会議費	11,270
利息	2,173		
収入の部合計	4,727,047	支出の部合計	3,039,249

平成17年度 職員構成 (12月1日現在37名)

- 園長 大浦 純平
- 副園長 大久保 雅子
- 主任 田村 明子
- 副主任 三笠 良子
- もも組 白井 颯子
工藤 江美
田村 綾子
原田 歩
林 郁子
野田 美和子
小田 晃子
西村 美香
岩永 松枝
小西 真弓
横山 しのぶ
- うめ組 岡崎 久美子
白石 晴美
阿部 俊子
野中 智子
相部 共美
- さくら組 吉澤 利恵美
中友 拓哉
田淵 香奈
早田 みやこ
松尾 裕美
- すみれ組 猿渡 健一
れんげ組 宮川 仁美
つくし組 小早川 純美
わらび組 白川 睦実
なずな組 中岡 千晶
- 栄養士 福島 千春 (育休中)
岩崎 真樹
- 調理員 山田 玲子
岡崎 千代
松下 珠美
- 用務員 三小田 菜穂子
中島 涼子

収支差額1,687,798円は次期周年記念事業積立金として積み立てました。

平成17年度父母の会役員

- 会長 伊集院 直親 (れんげ)
- 副会長 中島 秀樹 (わらび)
中山 恵美子 (なずな)
- 会計 小倉 和子 (なずな)
力丸 ひとみ (わらび)
- 書記 本村 絹代 (すみれ)
船越 正子 (もも)
- 委員 小田 加奈恵 (もも)
柳田 幸子 (もも)
徳山 愛巳 (もも)
永江 美代子 (うめ)
松尾 圭井子 (うめ)
根ノ 恵子 (うめ)
佐々木 由紀恵 (さくら)
森谷 加代子 (さくら)
池田 ゆかり (さくら)
藤谷 暢子 (さくら)
尾嶋 梢 (なずな)
的野 元和 (なずな)
國崎 美恵子 (すみれ)
石井 和美 (れんげ)
濱原 茜 (つくし)
高山 雅子 (つくし)
秦 由美 (わらび)
永井 隆美子 (わらび)
梅木 孝 (わらび)
- 監査 中富 光子 (れんげ)
古賀 倫子 (れんげ)

トピックス

一日保育士

保護者の方がお父さん先生・お母さん先生になつて保育に参加しています。



保護者の方に園での生活を体験しながら子ども達の様子や子ども同士はどう関わっているのかなどふつに遊んでいるのかなどより深く見て頂き、理解していただける様な一日を今年度から設けました。



家庭でおもたちの名前を聞く時、顔を思い浮かべることが出来ます。

私お母さんが保育園の普段の生活を体験したので帰ってから話す子どもの話の内容が良くわかり、共感することができ話がひろがっています。今まで以上に家庭で保育園の話をするようになりました。等々、皆さんの声をお聞きしうれしく思っています。

おたのしみ会

毎月、お誕生日の子どもたちのお祝いの形式で行っていたお誕生会を今年度からは参加している子どもたち全員がより多く楽しめるよう「おたのしみ会」との流れや内容を一新しました。

従来のお誕生日の子どもたちのお祝いは残りましたが保護者の方々のご招待はなくなりました。お誕生月の子の「挨拶やお楽しみ会」の様子をビデオに収録してご家庭へプレゼントしています。会の中ではクラスの出し物、保育士の出し物やその他に全員でダンスを楽しんだりゲームを楽しんだりしています。

ホームページ リニューアル

従来のつぼみ保育園HPを基盤として姉妹園の二園を加え法人HPとしてリニューアルオープン

各園のニュースや保育情報は勿論のこと、決算や事業報告等の情報公開の手段として発信をしていきたいと考えています。各園ニュースはブログを使ってよりアクセスしやすくし、携帯電話との連携も強化しました。子ども達の園での様子やお知らせなどを載せています。日々、新しい出来事を更新できるように担当職員も張り切っていますのでご覧下さい。

副園長 大久保雅子

ホームページアドレス

<http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/index.html>

保育園ニュースアドレス

<http://yaplog.jp/tsubominews/>